

---

# ニフレックの摂取過程における心情変化について

片言碧語

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ニフレックの摂取過程における心情変化について

### 【Nコード】

N1027X

### 【作者名】

片言碧語

### 【あらすじ】

ニフレックの摂取過程における心情変化について

## （前書き）

大腸内視鏡検査でニフレックを飲んだので、その時の心情変化を簡単に記載。

被験者 男 18歳 (1)

場所 神奈川県某所

摂取量 1600m? (2)

1～2口目：「まずいなーwwwこれwww」と笑いながら飲む。この時にはまだ背後に蠢く物が見えていない。

3～4口目：少し無言になりながら口に含むが、まだ蠢く物は見えていない。

5～8口目：だんだんとこれを2?近く飲む事の大変さに気づき始める。この頃には笑いながら飲む余裕は無い。

9～10口目：一口飲む事が苦痛になる。ボトルに詰まれている残りの液体の量に戦慄を覚える。

11口目～終わり：ただただ糞まずい液体(3)を我慢しながら飲む。一滴でも良いから自然に無くならないかな、と思ってしまう。

（後書き）

（ 1 ） 検査の待合室の年齢比率は、 20代と50代でした。 10代は恐らく僕一人でした。

（ 2 ） 液量は、 1400・1600・1800・2000ml?の中から医師が選びます。僕は1800でしたが、1600を飲んだ所で吐き気がひどくなり、1600でokしてくれました。

（ 3 ） 味は何とも形容しがたいのですが、あえて表現するなら「ゴムレモン味」です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1027x/>

---

ニフレックの撮取過程における心情変化について

2011年10月9日15時54分発行